

1、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

幼児教育科では、幼児教育に関する理論と技術の学習により、保育に必要な専門的力量、実践的指導力を身につけ、有為な社会の一員として創造的な生活をなし得る幼稚園教諭ならびに保育士を始めとする子どもの教育・福祉専門職の養成を目的として、以下の知識・技術・人間性を有するに至った者に短期大学士（教育学・保育）を授与する。

- 1)子どもの保育・教育に対し情熱・使命感・責任感を身に付けている。
- 2)保育・幼児教育に関する専門的知識・技術を修得し、実践力を身に付けている。
- 3)課題探求能力を持ち、自ら解決しようとする力を身に付けている。
- 4)子どもとその家族を始め人権を守り、人と自然を大切にする心を身に付けている。

総合コミュニケーション学科では、人と人を結ぶコミュニケーションに関する理論と技術の学習を基礎に、それぞれのコースにおいて専門的力量・実践力を身に付け、スペシャリストとして社会の各層でリーダーとして活躍できる人材の養成を目的として、以下の知識・技術・人間性を有するに至った者に短期大学士（人間関係学）を授与する。

介護福祉コース

- 1)命と人の尊厳、自然への畏怖をもち、介護・介助に対し情熱・使命感・責任感を身に付けている。
- 2)介護に関する専門的知識・技術を修得し、実践力を身に付けている。
- 3)課題探求能力を持ち、自ら解決しようとする力を身に付けている。
- 4)社会的弱者・障害者に寄り添い、遍く人権を守る心と術を身に付けている。

ビジネス情報コース

- 1)現在社会の中核の1つがビジネスと認識し、変化するビジネス世界に対峙する気構えを身に付けている。
- 2)現代ビジネス社会の土台となるコンピュータと商経に関する基本的一般的な技術・知識を修得し、実践力を身に付けている。
- 3)課題探求能力を持ち、修得した能力を基に自ら解決しようとする力を身に付けている。
- 4)法治・法理がビジネス社会の根幹であることを認識し、人間関係を築ける力を身に付けている。

2、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

各学科の教育目的を達成するため、以下の方針に基づき編成・実施する。

- 1)本学及び各学科・コースの教育目標に示された人材を養成するために大きく「全学共通一般教養科目」「学科専門科目」の二つの学習区分を設け、さらに各区分には「免許・資格取得必須科目」を配し、免許・資格取得に対応したカリキュラムを用意している。
- 2)各学科の専門科目には座学（理論）と実技（実践）科目を配し、体系的に履修できる編成としている。
- 3)所定の科目を2年間で履修することにより、各学科の専門知識や技術・技能の修得に加えて広く人格形成に資するカリキュラムを用意している。
- 4)少人数型授業形態を基本とし、参加型・双方型授業に努め、学習効果を高め学生一人一人の成長を図る授業形態としている。
- 5)他学科の専門科目も学生の興味・関心・進路に応じ可能な限り履修することができる。
- 6)本学の生涯学習センターと連携し、多種多様な資格取得に対応できるよう全学的体制を取っている。